



笠間市交通安全母の会

まくら

第17号

発行日 令和5年5月30日
発行 笠間市交通安全母の会
発行人 安達 あき子

交通安全は家庭から



ふるさとまつり in かさま

笠間市交通安全母の会

会長 安達 あき子

さくら第十七号を発行することが出来ますことは、皆様方のご協力とご理解のたまものと感謝申し上げます。とても辛く痛ましい事故が一月六日に起こりました。

お亡くなりになった方のご冥福を、心よりお祈り申し上げます。

私たち母の会は、「交通安全は家庭から」の合い言葉を信念に持ち、活動しております。

子どもたちの安全教室のお手伝いや、通路での立哨活動、高齢者の自宅訪問や安全教室のお手伝いなどで、悲しい思いをする人を無くしたく活動を行っております。

今年は、小さなお子様から高齢の方々が便利に使用しております自転車にヘルメットを着用して、乗っていただけるよう、声かけを目標にして活動して参ります。

昨年、地域交流センターいわま「あたご」で高齢者の方にお集まりいただき、県警のお巡りさん、笠間警察署のお巡りさんに、ご指導いただき自転車の交通安全セミナーを開催いたしました。

シミュレーター画面の前で、実際に自転車に乗っていただき、交通の決まり事を一緒に勉強いたしました。

自分は分かっているつもりでいたことが、実際には違っていたことが分かりました。

便利な自転車ですが、色々守らなくてはならないことがあり、二十数名で勉強させていただき、有意義な時間でした。

改めまして、今年は多くの方々に、自転車運転時のヘルメット着用の重要性をアピールして参ります。



サボカーの乗車体験



シルバー・ドライバーセミナー

十月十三日(木)、高齢運転者を対象に、羽鳥自動車学校教習所コースにて、運転講習や安全運転サポート車体験を開催しました。高齢者の交通事故防止に繋がれば何よりです。

県の事業として、十一月十六日に地域交流センターいわま「あたご」で高齢者を対象とした自転車教室を行いました。警察の方から安全に自転車に乗るためにヘルメットをかぶるように話があり、正しいかぶり方を教えてもらいました。講習では、基本的な交通ルールや危険な交差点での安全確認の仕方などの話がありました。

その後「交通安全危険予測」のシミュレーターの体験を一人ずつ行いました。特別な自転車に乗って画面を見ながらペダルを踏んで目的の地まで行きます。途中に信号や交差点や止まれるの標識などがあります。皆さん緊張しながらも真剣に取り組んでいました。

とても気軽に乗れる自転車ですが、乗り方によっては危険でもあります。ルールを守り譲り合いの気持ちで、事故の無い生活をしていきたいと思えました。



初めての体験にドキドキ



とても神秘的な空間でした

高齢者自転車セミナー



視察研修

十月十一日、春日部市にある首都圏外郭放水路の主要施設を見学しました。首都圏で水を軽減することを目的とした治水施設で、春日部市の上金崎地から小淵にかけての延長約6.3km国道16号直下約50m地点に設けられた世界最大級の地下放水路です。

約120段の階段を降りると巨大空間が広がっており、まさに「地下神殿」と呼ばれる調圧水槽は映えスポットとして人気ようです。見たことのない空間に感動しました。

日本が世界に誇る防災地下神殿は安全・安心を守り続けています。私たち母の会の活動も安全・安心をめざしていきたいと思えます。

的とした治水施設で、春日部市の上金崎地から小淵にかけての延長約6.3km国道16号直下約50m地点に設けられた世界最大級の地下放水路です。

約120段の階段を降りると巨大空間が広がっており、まさに「地下神殿」と呼ばれる調圧水槽は映えスポットとして人気ようです。見たことのない空間に感動しました。

日本が世界に誇る防災地下神殿は安全・安心を守り続けています。私たち母の会の活動も安全・安心をめざしていきたいと思えます。

令和4年度活動報告

- 4月 春のキャンペーン 交通事故死ゼロを目指す日
- 5月 着ぐるみ講習会 笠間市交通安全母の会総会「さくら」第16号発行 学校区委員説明会
- 7月 夏のキャンペーン
- 9月 秋のキャンペーン 女性団体のつどい
- 9月 交通事故死ゼロを目指す日
- 10月 笠間市交通安全母の会視察研修 ふるさとまつり in かさま シルバードライバーセミナー 高齢者世帯訪問～2月
- 11月 高齢者自転車セミナー
- 12月 歳末キャンペーン
- 1月 緊急事態キャンペーン

令和4年度決算報告

収入の部 (単位:円)				
項目	予算額	決算額	増減	摘要
会費	1,820,000	1,825,200	5,200	18,252戸×100円
助成金	300,000	300,000	0	市補助金(バス補助金)
交付金	54,000	66,595	12,595	県交母連より
研修費	51,000	56,000	5,000	参加者負担金(4,000円×14名)
雑収入	527	7	△520	預金利子
繰越金	20,473	20,473	0	前年度繰越金
合計	2,246,000	2,268,275	22,275	

支出の部 (単位:円)				
項目	予算額	決算額	増減	摘要
事業費	1,803,000	1,768,229	△34,771	啓発品・横断旗・着ぐるみ・会報誌・新入生黄色傘・その他
会議費	30,000	41,250	11,250	総会・役員会 他
事務費	40,000	7,070	△32,930	はがき・振込手数料 他
負担金	110,000	109,980	△20	県交母連負担金
研修費	250,000	281,350	31,350	バス代 他
雑費	10,000	0	△10,000	
予備費	3,000	0	△3,000	
合計	2,246,000	2,207,879	△38,121	

収入合計 2,268,275円 支出合計 2,207,879円
 差引残高 60,396円(次年度へ繰越)

交通安全県民運動 年間重点スローガン

夕暮れは 明るい服と 反射材

飲酒運転 たった一杯 一生後悔

自転車は車両です!

運転者には「責任」や「義務」が伴います 「自転車安全利用五則」を守りましょう

- 1 車道が原則、左側を通行 歩道は例外、歩行者を優先
 自転車は道路の左端に寄って通行しなければいけません。歩行者を守る運転を。
- 2 交差点では信号と一時停止を守って、安全確認
 自転車の交通事故の多くは交差点で発生しています。必ず止まって右・左・後方の確認を。
- 3 夜間はライトを点灯
 ライトの効果は前を照らすだけではありません。周囲に自転車の存在を知らせて交通事故を防止!
- 4 飲酒運転は禁止
 自転車は車の仲間。飲酒運転はもちろん、ながら運転も禁止×
- 5 ヘルメットを着用
 自転車の交通事故で亡くなった方の多くは、頭部を損傷しています。頭を守るヘルメットをかぶりましょう。

自転車を運転するみんなは交通社会の一員です。交通ルールを守って、交通マナーを示す、安全運転ドライバーを目指しましょう!

TOPICS!

6/8 ともべ幼稚園交通安全教室



DVDを見たり、おまわりさんの講話で交通ルールを学びました。

6/21 おしのべ保育園交通安全教室



手を上げて右、左、右「おへその目でもみましょう、みんな元気にできました。

9/30 くるす保育所交通安全教室



安全講話を聞いたあと、園庭に信号機を設置して、正しい横断歩道の渡り方を学びました。

9/21 秋のキャンペーン (かさま道の駅)



山口市長が「飲酒状態ゴーグル」を着けて酩酊状態を擬似体験しました。

12/6 歳末キャンペーン (ポレポレシティ)



年末の交通事故防止県民運動期間中、来店客に交通事故防止の啓発活動をしました。



今年も新一年生に黄色の学童傘を贈りました。

(編集委員)

編集後記

今回さくら17号を発行できました事を皆様に感謝しお礼申し上げます。

【編集担当】

- 安達 あき子
- 川松 艶子
- 井坂 典子
- 友部 順子
- 馬場 弓子